

『国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第19回追跡調査報告書』  
訂正について

令和6年2月 国立大学協会事務局

『国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第19回追跡調査報告書』におきまして、誤りがありました。以下について、別紙のとおり訂正いたします。

【訂正箇所】

第一部（調査報告）＞Ⅱ．男女共同参画の現状について＞5．任期付き教員の状況

- ・69～70 ページ
- ・74 ページ

## 5. 任期付き教員の状況

表Ⅱ-5-1に第7回調査(2010年度)から第19回調査(2022年度)までの男女別教員数(任期付き教員数含む)の推移を示した。なお、第14回調査(2017年度)までは、外部資金で雇用された任期付き教員のみを対象としていたが、第15回調査(2018年度)からすべての任期付き教員を対象として調査を行っている。

第19回調査(2022年度)における教員数(助手を除く)は62,368人であり、うち任期付き教員数は19,817人(31.8%)であった。また、女性教員数11,717人のうち、任期付き教員数は4,798人(40.9%)、男性教員数50,651人のうち、任期付き教員数は15,019人(29.7%)であり、男女の任期付き教員数の比率を比較すると、女性の任期付き教員の比率の方が高い。任期付き教員の比率を前回調査と比較すると、女性教員は1.0割、男性教員は1.3割増加している。

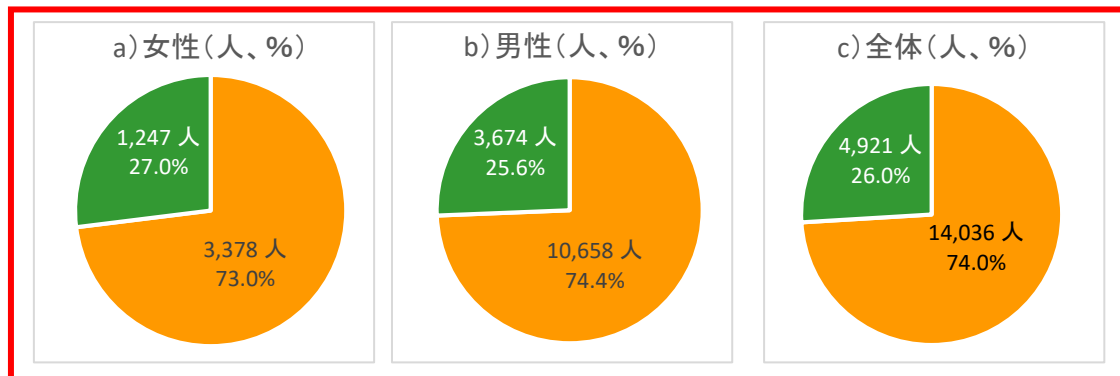
表Ⅱ-5-1 男女別教員数(任期付き教員数含む)の推移

	女(人)			男(人)			合計(人)		
		うち 任期付き	比率		うち 任期付き	比率		うち 任期付き	比率
第7回(2010)	7,301	644	8.8	50,165	3,046	6.1	57,466	3,690	6.4
第8回(2011)	7,607	768	10.1	51,121	3,709	7.3	58,728	4,477	7.6
第9回(2012)	7,852	768	9.8	50,225	3,355	6.7	58,077	4,123	7.1
第10回(2013)	8,291	698	8.4	50,930	3,068	6.0	59,221	3,766	6.4
第11回(2014)	9,013	861	9.6	52,429	3,710	7.1	61,442	4,571	7.4
第12回(2015)	9,680	1,577	16.3	53,437	6,210	11.6	63,117	7,787	12.3
第13回(2016)	10,118	1,468	14.5	53,460	5,407	10.1	63,578	6,875	10.8
第14回(2017)	10,285	1,415	13.8	53,024	5,050	9.5	63,309	6,465	10.2
第15回(2018)	10,641	3,719	34.9	52,710	12,947	24.6	63,351	16,666	26.3
第16回(2019)	10,825	4,052	37.4	52,101	13,977	26.8	62,926	18,029	28.7
第17回(2020)	11,194	4,257	38.0	51,652	14,188	27.5	62,846	18,445	29.3
第18回(2021)	11,533	4,605	39.9	51,129	14,546	28.4	62,662	19,151	30.6
第19回(2022)	11,717	4,798	40.9	50,651	15,019	29.7	62,368	19,817	31.8

※第6回まではデータなし。

また、第16回調査(2019年度)からは、任期付き教員のうち、契約更新の可能性の有無についても調査を行っている。図Ⅱ-5-1に、第19回調査における任期付き教員のうち契約更新の可能性のある者と契約更新の可能性がない者の比率を示す。契約更新の可能性のある任期付き教員は、女性で73.0%(前回比1.1割減)、男性で74.4%(前回比2.1割減)、全体で74.0%(前回比1.9割減)であった。前回調査と同様に、任期付き教員における契約更新の可能性の有無の比率は男女で大きな差はなく、73%以上の任期付き教員が、現在の任期満了後に契約を更新する可能性がある。

図Ⅱ-5-1 任期付き教員の構成別比率



■ 契約更新可能性あり  
■ 契約更新可能性なし

※契約更新の可能性の有無について未回答の人数は含めない

表Ⅱ-5-2 及び図Ⅱ-5-2 に、第7回調査（2010年度）から第19回調査（2022年度）までの教員（任期付き教員）の女性比率の推移を職階別に示した。

第19回調査（2022年度）における教員の女性比率について、教授全体では11.6%、任期付きは12.0%、准教授全体では18.5%、任期付きは20.2%、講師全体では23.4%、任期付きは24.0%、助教全体では25.7%、任期付きは28.3%であった。全ての職階において、全体に占める女性比率よりも任期付き教員に占める女性比率の方が高くなっている。任期付き教員の女性比率の推移をみると、助教を除く職階で前回調査よりも減少した。

表Ⅱ-5-2 職階別教員（任期付き教員）の女性比率の推移

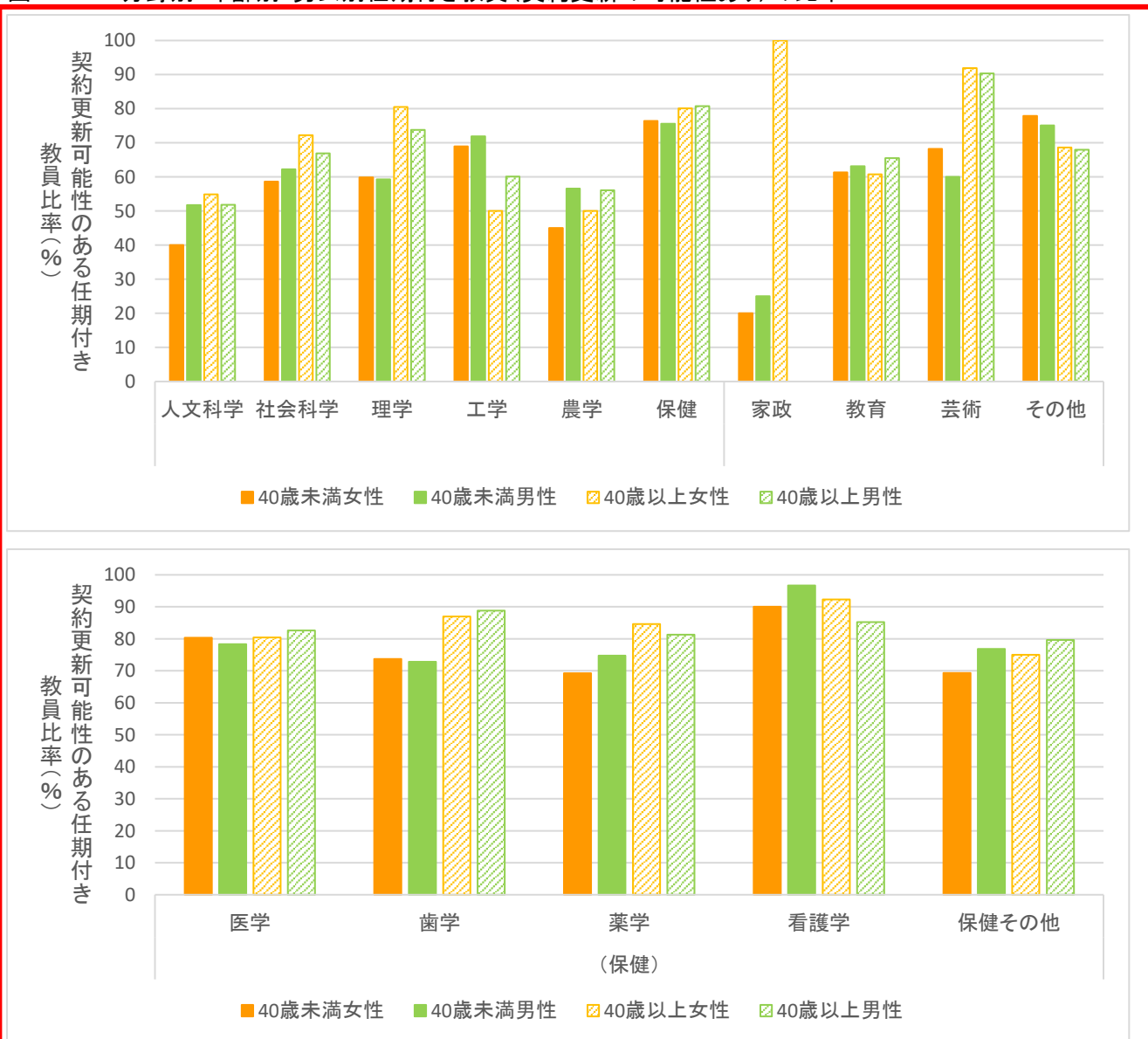
	教授(%)		准教授(%)		講師(常勤)(%)		助教(%)		合計(%)	
		うち 任期付き		うち 任期付き		うち 任期付き		うち 任期付き		うち 任期付き
第7回(2010)	7.4	7.9	13.3	15.8	18.2	15.5	17.9	21.4	12.7	17.5
第8回(2011)	7.7	7.8	13.3	14.5	18.2	17.5	18.3	21.1	13.0	17.2
第9回(2012)	8.0	6.5	14.0	17.8	18.7	18.7	19.0	23.0	13.5	18.6
第10回(2013)	8.5	7.4	14.5	18.1	18.4	19.8	19.4	21.9	14.0	18.5
第11回(2014)	8.7	4.7	14.9	15.6	20.1	22.3	20.3	22.7	14.7	18.8
第12回(2015)	9.1	7.5	15.3	16.3	21.2	22.9	21.3	24.3	15.3	20.3
第13回(2016)	9.4	5.7	15.8	16.1	21.8	24.9	22.0	26.1	15.9	21.4
第14回(2017)	9.8	8.6	16.3	17.1	21.5	27.1	22.2	25.9	16.2	21.9
第15回(2018)	10.3	10.1	15.4	17.5	21.8	24.2	23.0	25.6	16.8	22.3
第16回(2019)	10.4	10.2	17.1	18.9	22.3	24.0	23.6	26.1	17.2	22.5
第17回(2020)	10.8	11.1	17.7	20.2	22.6	24.5	24.4	26.5	17.8	23.1
第18回(2021)	11.3	12.2	18.1	20.7	23.1	25.2	25.2	27.5	18.4	24.0
第19回(2022)	11.6	12.0	18.5	20.2	23.4	24.0	25.7	28.3	18.8	24.2

※第6回まではデータなし。

また、図Ⅱ-5-3に、第19回調査(2022年度)における任期付き教員のうち契約更新の可能性のある者の分野別、年齢別の比率を示した。理学及び芸術分野では、40歳未満、40歳以上ともに、女性のほうが契約更新の可能性のある教員の比率が高いが、工学、農学、教育分野では逆に、いずれの年齢区分でも男性のほうが契約更新の可能性のある教員比率が高い。また、40歳未満の男女を比較すると、女性のほうが契約更新の可能性のある教員比率が高いのは、理学、保健及び芸術分野だが、40歳以上で比較すると、女性のほうが比率が高いのは、人文科学、社会科学、理学及び芸術分野である。

保健を細分化してみると、医学及び歯学では、40歳未満で女性、40歳以上で男性のほうが、契約更新の可能性のある教員比率が高くなっている。薬学及び看護学では、40歳未満で男性、40歳以上で女性のほうが、契約更新の可能性のある教員比率が高くなっている。

図Ⅱ-5-3 分野別・年齢別・男女別任期付き教員(契約更新の可能性あり)の比率



※契約更新の可能性の有無について未回答の人数は含めない